

育成センター情報

令和2年 7月15日(水)
【倉敷市青少年育成センター】
倉敷市西中新田640番地
TEL 426-3861 / FAX 421-6018

盛夏の候、平素から青少年の健全育成にご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。7月に入り、梅雨前線に伴う記録的な大雨が九州各地で猛威を振るうなど、その被害は決して他人事ではないもので、心が痛みます。また、新型コロナウイルス感染症に対する不安も続く中、子どもたちの日常生活への影響も少ない状況です。今年後半、少しでも明るく穏やかな毎日が続くことを願っています。



倉敷地区研修会/市庁舎 10階大会議室 (R2.7.8)



児島地区研修会/児島マリナプール (R2.7.6)

今年4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や延期となっていた地区研修会や補導活動など、地区研修視察を除き、開催場所を変更するなどして予定どおり始まりました。

各地区研修会 今年最初となった地区研修会では、大変多くの少年補導委員の皆様方にご出席いただきました。研修会では、中学校ブロックごとの少年補導委員の顔合わせや連絡先、情報等の交換をしました。また一部、所轄警察署生活安全課をはじめ、倉敷少年サポートセンターの方にご出席を賜り、岡山の少年非行概況や情勢、管内の青少年に関する状況等、今後の補導活動に生かせる内容をお話いただきました。

補導活動 7月3日から合同補導、翌4日から夜市補導が始まりました。今年、倉敷天領夏祭り、水島港まつり、夏フェス KOJIMA どんかつか、玉島まつり、真備・船穂総おどりなどの“まつり”が相次いで中止となりましたが、補導活動は予定どおり実施します。夜市補導、夜間及び休業中の合同補導も同様です。中学校ブロックの補導については、これに準じて実施してください。また、警報時における合同補導実施の判断については、次のとおりですのでご参考ください。少年補導員の皆様方には、5月16日付文書『令和2年度の合同補導について』で詳細をお知らせしています。本年度も積極的な補導活動にご協力をお願いいたします。

【補導開始時間2時間前】「特別警報」及び「警報」(大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高潮)発令中は、「合同補導」を中止します。中止連絡は、各中学校ブロックの連絡網で対応してください。

【解除された場合】補導開始2時間前の判断後、「特別警報」及び「警報」が解除されても、その日の「合同補導」は中止とします。なお、「各中学校ブロック補導」についても、「合同補導」の対応に準じて判断してください。

7月は青少年の非行や犯罪による被害防止を呼びかける「青少年育成強調月間」です。倉敷市では、6か所に横断幕や懸垂幕を設置しています。



7月からの活動 一部予定どおりの実施へ

今年4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や延期となっていた地区研修会や補導活動など、地区研修視察を除き、開催場所を変更するなどして予定どおり始まりました。

各地区研修会 今年最初となった地区研修会では、大変多くの少年補導委員の皆様方にご出席いただきました。研修会では、中学校ブロックごとの少年補導委員の顔合わせや連絡先、情報等の交換をしました。また一部、所轄警察署生活安全課をはじめ、倉敷少年サポートセンターの方にご出席を賜り、岡山の少年非行概況や情勢、管内の青少年に関する状況等、今後の補導活動に生かせる内容をお話いただきました。

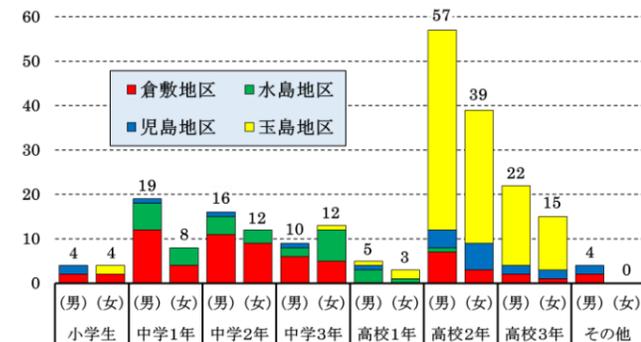
補導活動 7月3日から合同補導、翌4日から夜市補導が始まりました。今年、倉敷天領夏祭り、水島港まつり、夏フェス KOJIMA どんかつか、玉島まつり、真備・船穂総おどりなどの“まつり”が相次いで中止となりましたが、補導活動は予定どおり実施します。夜市補導、夜間及び休業中の合同補導も同様です。中学校ブロックの補導については、これに準じて実施してください。また、警報時における合同補導実施の判断については、次のとおりですのでご参考ください。少年補導員の皆様方には、5月16日付文書『令和2年度の合同補導について』で詳細をお知らせしています。本年度も積極的な補導活動にご協力をお願いいたします。



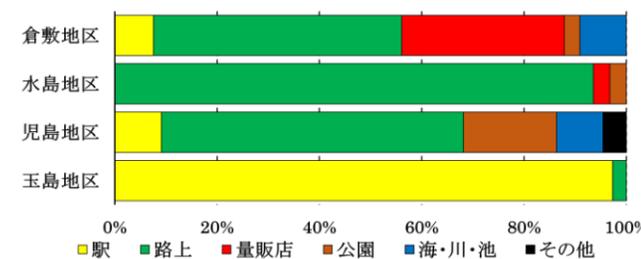
夜市合同補導/水島地区 (R2.7.4)

最近の倉敷市内各地区の状況

(1) 補導件数 (令和2年4月～6月累計)



(2) (1)に占める補導場所の割合



水島地区 前年度同期と比べ、補導件数は19%の増加です。それでも、5年前と比べて65%減少しており、喫煙行為等の非行行為や、公園でゴミを散らかしたり騒いだりする迷惑行為等は、年々少なくなっています。小中学校が臨時休校だった時期は、街中での子どもたちの姿はほとんどありませんでした。しかし、5月後半に多くが分散登校という形で学校が再開すると、公園で元気よく遊ぶ子どもたちの姿をよく見かけました。これまで自宅で溜まっていたエネルギーを発散しているかのようで、補導対象行為はありませんでした。今年度は、毎年行う中学校PTA補導部協議会による毎土曜日の夜間合同補導はありませんが、地区全体での取組は大変ありがたいものであり、今後も連携を図っていきたく考えています。

児島地区 前年度同期と比べ、補導件数は75%の減少です。大幅に減少した理由は、倉敷地区と同様です。5月後半に多くが分散登校という形で学校が再開すると、児島公園や中山運動公園といった比較的大きな公園で、笑顔あふれるたくさんの小中学生を見かけました。しかし、一部の中学生や高校生を含む卒業生が小集団化し、喫煙行為や大音量で音楽を流すなどの迷惑行為が見られました。これからの児島地区では、本格的な夏場を迎えるにあたり、大島海岸をはじめ、通生海岸や和井田港、琴浦港赤灯台等、遊泳禁止区域で泳ぐことや、付近でのごみの散らかしが懸念されます。このため、学校間での連絡や校区の情報をもとに、実情に応じた補導コースの選定をお願いいたします。

玉島地区 前年度同期と比べ、補導件数は51%の減少です。しかし、6月は21%の減少にとどまっておらず、学校再開と同時に前年度並みになってきています。グラフが示すとおり、玉島地区では補導件数の大半を高校1・2年生が占めています。JR新倉敷駅や新倉敷駅南公園、井原鉄道の吉備真備駅とその待合室は、補導巡回の重点地域となっています。今年度は、沙美海水浴場が開場しないことから、人の目が行き届かず、水辺の事故やごみの散乱等が懸念されます。また、先日実施した真備地区の合同補導で地域の少年補導委員さんから聞いたお話をお伝えします。7月に入って梅雨前線が活発になり、倉敷市でも大雨警報が発令されました。いつも活発な小学生男児の元気がない姿を見た地域の方が、男児に声を掛けると、「雨が怖い」「また家が流されるかも」と応えたそうです。表面上は強気に振舞っていても、子どもたちの2年前の体験での恐怖や不安は、時の経過だけで簡単にぬぐえるものではありません。そのことを男児は教えてくれます。今後とも、温かい声掛けを続けていただきたいと思います。

倉敷地区

前年度同期と比べ、補導件数は57%の減少です。これは、4～5月、学校が臨時休校や分散登校を行っていた時期であるため、駅周辺や量販店で子どもたちの姿を見かけることが少なかったことが関係しています。本格的に授業が始まった6月は、ほぼ前年度並みとなっています。倉敷地区の特徴は、中学生の補導件数の割合が高いことです。特に、SNS機能等で繋がった中学校1・2年生を中心とする交友関係の広域化が進んでおり、市内外を問わず、他校生を駅周辺の量販店などで見かけることが多くなっています。現段階では、補導対象行為は少ないですが、今後広域化がますます進んだ場合が心配されます。また、今年度は小中学校で水泳授業がないことから、本格的な暑さを迎えると、酒津貯水池や高梁川本流、親水公園での遊泳や水遊び等を楽しむ子どもたちの人数が例年以上に予想されます。このため、水辺の事故防止の観点から、補導の巡回コースに組み入れてくださいますようお願いいたします。

